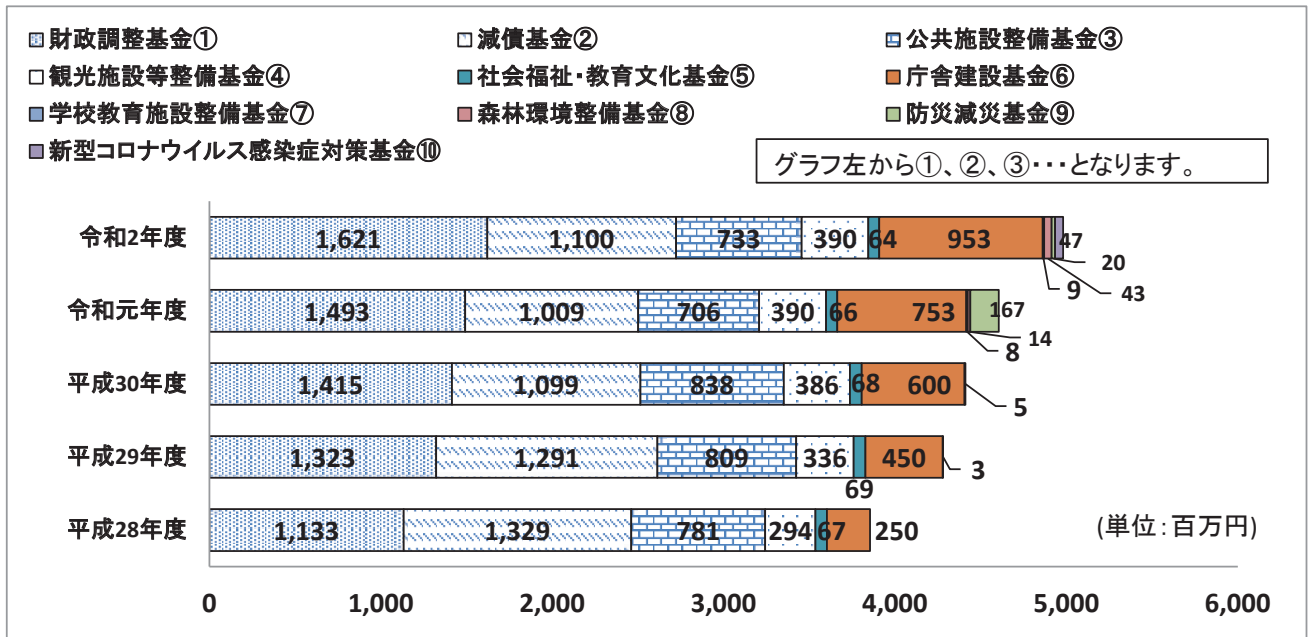


【積立基金の推移】



歳出決算額は過去最大規模となりましたが、国都支出金や地方交付税により歳入も大きく増となったことで、積立基金（町の貯金）の現在高は増となりました。しかし、町が自前で確保できる収入（自主財源）に比べ歳出が非常に大きい状態に変わりはありません。積立基金についても、奥多摩処理区下水道整備事業に要した起債（借金）の償還（返済）や公共施設の老朽化対策の費用に活用する必要があり、今後の国や東京都の財政状況によっては、非常に厳しい財政運営を強いられる可能性があります。

【令和2年度特別会計決算総括表】

会計名	歳入決算額	歳出決算額	収支差引額
都民の森管理運営事業特別会計	7824万7千円	7255万3千円	569万4千円
山のふるさと村管理運営事業特別会計	1億6095万円	1億5853万3千円	241万7千円
国民健康保険特別会計	7億2796万5千円	6億9963万円	2833万5千円
後期高齢者医療特別会計	2億2200万1千円	2億1589万4千円	610万7千円
介護保険特別会計	8億7642万4千円	8億6079万9千円	1562万5千円
下水道事業特別会計	6億1876万7千円	6億1876万6千円	1千円
合計	26億8435万4千円	26億2617万5千円	5817万9千円

特別会計の決算額（合計）は、前年度に比べて歳入で0.3%、歳出で0.8%の減となっています。主な減要因は、国民健康保険特別会計における保険給付費や介護保険特別会計における介護給付費が減額となったことなどです。近年増額傾向にあったこれらの費用が減額となった主な要因は、新型コロナウイルス感染症の影響による医療機関への受診控えや特別養護老人ホームなどの介護サービスの利用者減と考えられます。

※問い合わせは、企画財政課 ☎83-2360